

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公表番号】特表2003-503249(P2003-503249A)

【公表日】平成15年1月28日(2003.1.28)

【出願番号】特願2001-507654(P2001-507654)

【国際特許分類】

B 4 2 D 5/00 (2006.01)
C 0 9 J 7/02 (2006.01)
C 0 9 J 153/00 (2006.01)

【F I】

B 4 2 D 5/00
C 0 9 J 7/02 Z
C 0 9 J 153/00

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月9日(2007.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 上面、底面および側縁部をそれぞれ備え、互いに着脱自在に接着されている複数枚の紙片および台紙を含む付箋紙であって、前記複数の紙片のそれぞれの上面は記入可能であり、前記底面には、厚さが100μm未満であり、ステンレス鋼表面上にて200gの静止摩擦荷重を用いてDIN53.375-Bにより測定した場合の静摩擦係数が少なくとも1であり、かつステンレス鋼表面上にてF I N A T試験Method no. 2にしたがって測定した場合の90°剥離接着力が0.1N/1.27cm未満である露出される滑り抵抗層が担持された、付箋紙。

【請求項2】 前記滑り抵抗層が、(i) オレフィンホモポリマー、置換オレフィンのホモポリマー、オレフィン-コポリマーおよびポリオレフィンプラスチックからなる群から選択されるポリオレフィンにもとづくポリマー材料と(ii) オレフィン系エラストマ、合成ゴム、非硬化性ポリウレタンエラストマおよびポリエステルエラストマからなる群から選択される熱可塑性エラストマ材料にもとづく材料とからなる群から選択される1種類以上の化合物を含む、請求項1に記載の付箋紙。

【請求項3】 前記台紙が紙片あるいはポリマーフィルムである、請求項1又は2に記載の付箋紙。